

【小学校・6年・道徳科・「父の言葉」 (B 親切、思いやり)】

育成を目指す資質・能力

A 1 (教材の提示)

C 1 (発表や話し合い)

「わたし」と「父」の思いや考えの相違点を話し合う活動を通して、本当の親切とは何かを考え、相手のためになる行動についての考えを深め、誰に対しても思いやりの心をもとうとする心情を育てる。

ICT活用のポイント【活用したソフトや機能】 ホワイトボードソフト プレゼンテーションソフト 表計算ソフト

- ・効果的に映像を活用し、教材への導入を図ったり、生徒の意見を可視化したりすることで、ねらいにせまる。
- ・授業前・授業後に内容項目に関わるアンケートを実施し、どのように児童の考えが変容したのかを表計算ソフトを使ったテキストマイニングを活用して見取る。
- ・協働作業できるホワイトボードソフトを使用することで、瞬時に多くの考えに出会い、多面的・多角的な考えに触れることができる。

学習の流れ

内容項目について学習前の考えを明らかにする。

登場人物のスライドを使用し教材への導入を図る。

登場人物の気持ちを考える。

思いやりある行動をとるために大事なことについて考え、話し合う。

内容項目について学習後の考えを明らかにし、学習前と比較する。

事例の概要

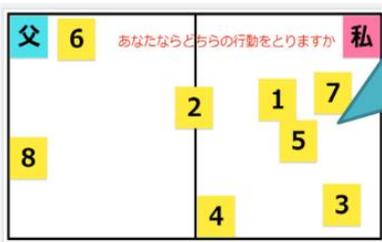
授業前・授業後に内容項目に関わるアンケートを実施し、どのように児童の考えが変容したのかを表計算ソフトを使ったテキストマイニングを使って可視化した。このことにより、学習の前後で、自分たちの考えに広がりや深まりがあったことを実感させ、交流のよさに気付かせることができた。

導入時には、プレゼンテーションソフトを使って登場人物について紹介するようにした。

展開時には、児童に考える時間を確保するため、プレゼンテーションソフトを使い、提示方法の工夫を行った。人を思いやる行動をとるためには何が必要なのかを考える場面では、対話を大切にし、直接交流、ホワイトボードソフトを使った文字による交流を3回行うことで、より多くの意見に触れることができ、多面的・多角的に考えることができたようにした。

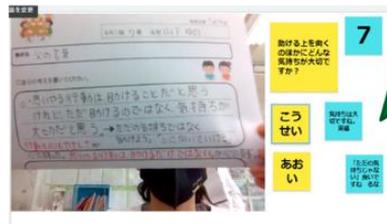
【小学校・6年・道徳科・「父の言葉」 (B 親切、思いやり)】

【事例におけるICT活用の場面①】



【考えの視覚化】
自分の考えがどちらに近いのか、納得できるか、付箋を使って表す。同時に作業できるので短時間で何度も行うことができる。

【事例におけるICT活用の場面③】



【文字による交流】
記述したワークシートを撮影し電子ホワイトボードに貼り付ける。同意見、異なる意見、質問と色分けした付箋を活用することで短時間で多様な考えに触れることができる。

【事例におけるICT活用の場面④】

「父の言葉」	2021年7月14日
思いやりとはどんな行動だと思いますか。	今日の授業を通して一番大切だと思ったことは何ですか。
授業前	授業後
1 困っている人を助ける。	相手のことを考えることが大切!!!!
2 人を助けたり、ゆずったりする	優しくだけでなく、相手を思う気持ちも大切!!!!
3 人を助ける。	どうしたら相手がいい気持ちになれるか人を思う優しさが大事
4 人を助ける	相手のことを考える
5 優しさ・助ける (自分から)	思いやりは、助けるだけでなく相手を思うこと。
6 自分から何かを助けること	相手の気持ちを考える 相手の気持ちになる
7 人のために動く。	行動よりも優しさ・勇気
8 考えて行動する。助ける	思いやる行動は、助けるだけではない。
誰かが困っている時に、すぐ助けてあげる。	隠れるんじゃなくて、その人の気持ちを考え行動することが、大切。



テキストマイニングを利用することで、視覚的にどのような変容がみられるのかを容易に実感することができる。

助ける
やさしく 困る 優しく
助ける 優しく 思いやり

思いやる
助ける 優しく 思いやり
助ける 優しく 思いやり

【児童の思考の変容の見取り】

内容項目などねらいに関する内容を授業前、授業後に記述させることで変容を見取ることができる。協働作業で行うので友達の考えを瞬時に確認することも可能。長期的な変容を見取することも可能。評価にも活用することが可能。

ICT活用のポイント

本授業では、導入の際にプレゼンテーションソフトを使って写真を共有し、児童の興味関心を引く手立てとした。

話し合いの場面では、ホワイトボードソフトを活用することで、短時間で多様な意見に触れることができたようにした。また、表計算ソフトを使ったテキストマイニングを活用したことで、授業前後の学級の変容を見取ることができた。可視化することで、児童も、友達との交流で意見の広がりや深まりがあったことがわかり交流の良さを実感することができた。

振り返りを1人1台端末に保存・蓄積し、1時間の学習評価だけではなく、長期的な児童の変容を見取ることができるようになった。

ICT活用事例 AI（教員による教材の提示） CI（発表や話し合い）

主題名 相手の立場に立って（第6学年B-（7）親切、思いやり）

教材 「父の言葉」

使用機器：1人1台端末、大型テレビ

活用したソフトや機能：ホワイトボードソフト プレゼンテーションソフト 表計算ソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ① 自分の考えを記述したワークシートを撮影したものを1人1台端末に記録し、ホワイトボードソフトに貼り付けることで、多くの友達と意見を交流し、多面的・多角的に考えることができる。1人1台端末上で付箋を色分けして利用することで、短時間に文字による効果的な交流を図る。
- ② テキストマイニングを利用し、授業前後に内容項目に関する考えを記述させ変容を見取る。その時間で何を学習したのか、何を一番大切と考えたなど全員で共有することができる。
- ③ 学習したことを継続的に記録していくことで、1時間の学習記録となるだけでなく、長期的な変容を見取ることにもつながる。評価にも利用することができる。

1 児童生徒の実態

最高学年になり、下級生に対して思いやりの気持ちをもち親切に接する姿を多く目にするようになった。「下級生だとなんでもしてあげたい」という思いを持ち接している児童も多い。ただ、同級生同士だと相手の立場に立って考えたり、個性を認めて行動したり、相手のためになる行動をとるのが苦手な児童もいる。

2 ねらい

「わたし」と「父」の思いや考えの相違点をそれぞれの立場から話し合う活動を通して、本当の親切とは何かを考え、相手のためになる行動についての考えを深め、誰に対しても思いやりの心をもとうとする心情を育てる。（道徳的心情）

3 教材名（出典）

「父の言葉」（教育出版「小学 道徳⑥ はばたこう明日へ」）

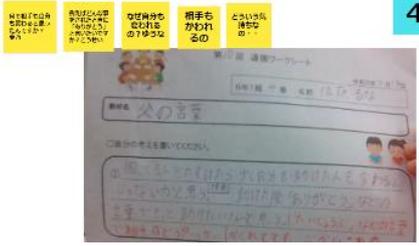
4 考えさせたいこと

「わたし」と「父」の考えの相違について考えることを通して、「思いやり」とはどんなことかを考えさせたい。視点が変わればふさわしい思いやりの行動にも違いがでることに気付かせ、個性を認め相手の立場にたって考え行動することの大切さに気付かせたい。

5 学習指導過程

過程	学習活動と主な発問(○◎)	予想される児童の発言	□指導上の留意点
導入	1 本日の内容項目について考える。シートを利用し確認。 ○思いやりとは何だと思えますか *時間をとり意見の交流	 ・困っている人を助ける。 ・自分から何かを助けること。 ・人のために動く。考えて行動する。	□指導上の留意点 ◆(ICTの利用) ◆1人1台端末 ◆事前に表計算ソフトに記入させておく。 ◆テキストマイニングにより、分析したものを

7分	<p>2 本時の課題を知る。</p> <p>・思いやりとはどんな行動だろうか。</p> <p>3 主人公の黒柳徹子さんのことを知る。</p> 	<p>・おばあちゃんになってもみんなのために活動しているすごい人なんだ。</p>	<p>提示。</p> <p>◆黒柳徹子さんの紹介とユニセフ親善大使での活動についてプレゼンテーションソフトで紹介する。</p>
展開1 13分	<p>4 本文「父の言葉」を聞く。</p> <p>・なぜ、わたしがとった行動と父が言った言葉が異なるのか考えながら聞いてください。</p> <p>5 内容を確認する</p> <p>○わたしは隠れることを選び、父は「行ってお話してあげなさい。」と言いました。あなたならどちらの行動をとりますか。番号の付箋を移動させてください。</p> <p>○違う行動を選ぼうとした二人に共通することはないですか。</p>	<p>□ホワイトボードソフトの付箋を移動させ自分だったらどちらの立場をとるか意思表示する。</p> <p>・相手を思う気持ち</p>	<p>□範読の際の視点を与える。</p> <p>◆デジタル教科書を利用し範読</p> <p>□病気について確認する。</p> <p>□黒柳徹子さんは病気が治ったことと、赤い松葉杖の女の子は歩くことができないことを確認する。</p> 
◎相手のためになる 思いやる行動をとるためには、あなたは何が大事だと思いますか。			
展開2	<p>交流</p> <p>3人組になり意見の交流を行う。(1回3分×2回)</p> <p>① 縦列で行う</p> <p>② 横列で行う。</p> <p>③ 文字による交流</p>	<p>・「助けるだけが思いやりじゃない」と思う。自分ができる行動を考えること。</p> <p>・困っている人を助けたら、少し自分も相手も変わるんじゃないかと思う。相手の「ありがとう。」でもっと助けたいと思うから。</p> <p>・相手の後の気持ちを考えて交流する。この行動をとったら相手がどうなるか、どんな気持ちになるか。</p> <p>・誤解がないように思い切って話をする。</p>	<p>◆ホワイトボードソフトを利用し、出席番号の書いてある付箋を動かしてどちらの行動をとるか考えさせる。</p> <p>□色ごと分類された付箋を使うことで効果的に分類・交流していく。</p> <p>□父のこの言葉が、ユニセフの親善大使をする自分の出発</p>

17分		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の今、求めている気持ちになる。そして相手の気持ちを考える。 ・困っている人を助けたら自分も変われると思えば良い。 ・思いやる行動は助けることだと思う。けれどただ助けるのではなく気持ちが大切。行動力よりも優しさが心に残った。 	<p>点になっていることを押さえる。</p> <p>□記述したワークシートを撮影し、自分のホワイトボードに貼り付ける。</p> <p>◆付箋を利用しコメントを記述することで文字による交流ができるようにする。</p>
分	<p>全体での交流</p> <p>○「自分と考えが違った人であるほどと思った人を教えてください。名前を呼ばれたら発表してください。」</p>	<p>(・ホワイトボードソフトの記述された質問に答えていく。)</p> 	<p>◆挙手させることだけではなく、ホワイトボードソフトを利用することで時短しながら把握できるようにする。</p>
<p>終末①</p> <p>終末②</p>	<p>学習を振り返る</p> <p>○「今日の友達との交流を通して、あなたは何が一番大事だと思いましたか。」</p> <p>(文字による交流)</p> <p>全体で共有する。</p> <p>・詩の紹介をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にとって必要なことをする。 ・なんでも手を出すのではなく本当に相手にとって必要だと思うことをする。 	<p>◆表計算ソフトを利用し記入していく。</p> <p>◆テキストマイニングを再度利用して交流を通しての学びの広がりを実感する。</p>

6 評価の視点

- ・「わたし」と「父」の思いや考えの相違点をそれぞれの立場から多面的・多角的考えることができたか。
- ・相手のためになる思いやりのある行動について、自分自身の生活を振り返り考えることができたか。

7 学習指導の様子 (ICT の効果的な利用)

*授業前に児童に回答させた内容項目についての記述を、表計算ソフトを使ったテキストマイニングにより提示することでスムーズに導入に入ることができた。テキストマイニングにより児童の考えを分析したものを提示することで、学級全体の考えの傾向を視覚的に表すことができた。さらに、授業前後で比較することで児童の思考がどのように変容したのかも見取ることができた。話し合いでは、ホワイトボードソフトを活用することで交流活動が活発になり、友達の様々な考えに触れることができたようになった。また、表計算ソフトを共有することによって友達がどのような考えなのかを瞬時に知ることができた。蓄積することが可能なのでいつでも振り返ることができ、教師の評価にも活用することができた。

8 資料(板書やワークシート、道徳ノート等)

○授業前後の意見の変容(表計算ソフト)

共同作業できるこのシートを使うことによって、瞬時に全員が記述し、友だちがどのように考えたのかを短時間で把握することができる。そして、その1時間での児童の変容も見取ることができる。主発問で児童が考えたものと授業後の学習感想には変容がみられることから、数回交流することによって、多面的・多角的に考えられるようになり、授業後何が一番大切か吟味していることも伺えた。

「父の言葉」		2021年7月14日
	思いやりとはどんな行動だと思いますか。	今日の授業を通して一番大切だと思ったことは何ですか。
	授業前	授業後
1	困っている人を助ける。	相手のことを考えることが大切!!!!!!
2	人を助けたり、ゆずりたりする	優しくだけでなく、相手の思う気持ちも大切!!
3	人を助ける。	どうしたら相手がいい気持ちになれるか人を思う優しさが大事
4	人を助ける	相手のことを考える
5	優しさ・助ける(自分から)	思いやりは、助けるだけじゃなく相手を思うこと。
6	自分から何かを助けること	相手の気持ちを考える 相手の気持ちになる。
7	人のために動く。考えて行動する。助ける	行動よりも優しさ・勇気、思いやる行動は、助けるだけではない。
8	誰かが困っている時に、すぐ助けてあげる。	隠れるんじゃないくて、その人の気持ちを考えて行動することが、大切。

○ホワイトボードソフトを利用した交流をするための手引き(裏面にはローマ字入力するための手引き)

道徳の時間の話合い活動の手引き

意見の交流。

★ルール★

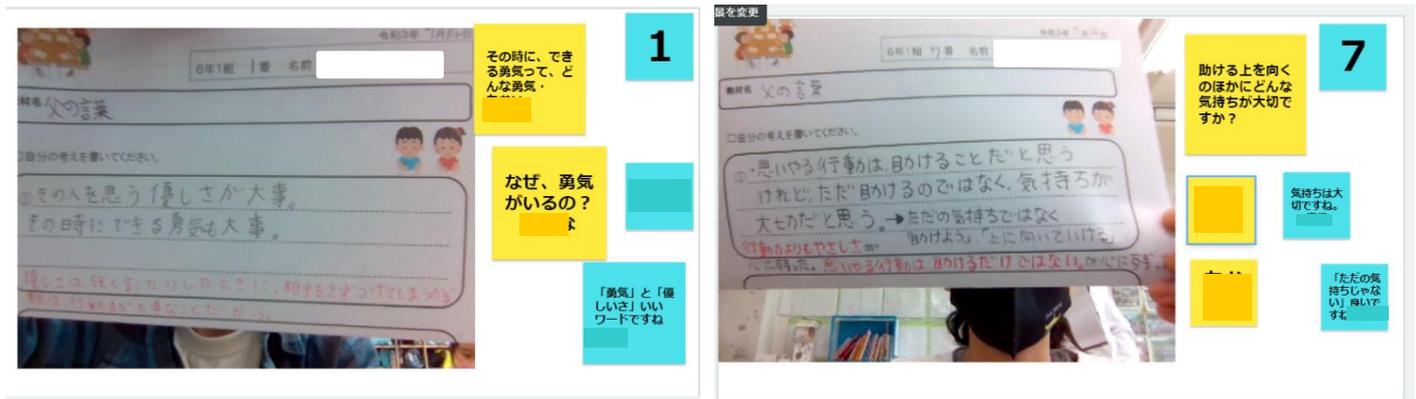
- ・自分が交流しなかった友達の見解・考えに対して付箋をはる。
- ・付箋にはそれぞれコメントをして名前をつける。
- ・色は次の通り使い分けをしてください。

付箋の色	名前	名前	名前
内容	質問	同じ意見・考えです・なるほど	自分の考えとは違うよ
たとえば…	どうしてそう思ったの？ なぜそんな風に考えたの もっと詳しく知りたい！ 一緒に考えたい。	自分と同じ意見(考え)です。 似ています。	自分はこんな風に考えたから 私のも見てみてね。

★ジャムボードを使った交流の仕方★

- ① その授業のフォルダを選択する(自分の番号のページに記入していく。)
- ② 先生の指示にあった課題に対して、ワークシートに記述する。記述し終えたら写真を撮り自分のページに載せる。
写真マーク(画像を追加)→カメラ→撮影→挿入→場所の移動と大きさの調整。
できない場合→ホームからカメラを選択し撮影→ジャムボードに戻る→写真マーク(画像を追加)→アップロード→参照→写真選択→開く→調整。
- ③ ジャムボードを活用した交流の方法について。
 - ・話し合い活動をしなかった友だちの記述を読み、付箋を書く。
 - ・話し合いを深めるためにぜひ、質問を出してください。
 - ・付箋の色に気を付けながら色分けしながら自分の考えや思いを記述してください。

○ホワイトボードソフトによる交流の個人のページ



○テキストマイニングによる児童の学習の変容

授業前



授業後

